



平成27年8月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年1月8日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング 上場取引所 東
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正
 問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健 TEL 03-6865-0050
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年8月期第1四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成26年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	479,543	23.3	91,370	39.9	106,745	53.6	72,796	63.5	68,826	63.9	163,280	135.3
26年8月期第1四半期	389,052	—	65,314	—	69,476	—	44,515	—	41,995	—	69,378	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
27年8月期第1四半期	675	30	674	61
26年8月期第1四半期	412	13	411	81

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭		
27年8月期第1四半期	1,281,057	784,349	762,414	59.5	7,480	41				
26年8月期	992,307	636,041	618,381	62.3	6,067	40				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
26年8月期	—	150.00	—	150.00	300.00	
27年8月期	—					
27年8月期（予想）		160.00	—	160.00	320.00	

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	890,000	—	120,000	—	120,000	—	72,000	—	67,000	—	657	39
通期	1,600,000	15.7	180,000	38.0	180,000	32.9	108,000	36.1	100,000	34.1	981	18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年8月期1Q	106,073,656株	26年8月期	106,073,656株
27年8月期1Q	4,152,070株	26年8月期	4,155,045株
27年8月期1Q	101,920,154株	26年8月期1Q	101,898,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
4. 補足情報	17
(1) 部門別売上実績	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年9月1日～平成26年11月30日）の連結業績は、売上収益が4,795億円（前年同期比23.3%増）、営業利益が913億円（同39.9%増）、税引前四半期利益は1,067億円（同53.6%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が688億円（同63.9%増）と、増収増益になりました。全てのセグメントで増収増益を達成しており、特に、海外ユニクロ事業が大幅な増収増益となっております。なお、営業利益の増益幅に比べ、税引前四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益の増益幅が大きい理由は、11月期末の為替レートが円安となったことから、外貨建資産などの換算差額が増え、金融損益を153億円計上したことによります。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.1 アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業に力を注いでおり、出店を加速する一方で、世界主要都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店、大型店を出店し、ユニクロブランドの認知度を高め、事業の基盤強化を図っております。また、グローバルブランド事業においても、ジーユー事業、セオリー事業の積極的な事業の展開を進めております。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は2,326億円（同11.6%増）、営業利益は511億円（同21.3%増）と、計画を上回る増収増益を達成いたしました。同期間の既存店売上高は同7.5%増収と、売上が好調だったことに加え、売上総利益率が同2.4ポイント改善したことにより、営業利益は大幅な増益となりました。売上総利益率が改善したのは、9月初旬からの気温低下により秋冬物商品の立ち上がりがかつたこと、ヒートテック、ウルトラライトダウン、エクストラファインメリノなどの冬物コア商品の販売が好調だったことによります。10月3日にはグローバル繁盛店の吉祥寺店、10月31日にはグローバル旗艦店のUNIQLO OSAKA店をオープンし、地域密着型の店舗としてオープン時から継続して盛り上がりを見せております。11月期末の国内ユニクロの直営店舗数は824店舗（フランチャイズ店28店舗除く）と、前年同期末比で14店舗の減少となっております。このうち、9店舗は直営店がフランチャイズ店に転換したものです。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は1,680億円（同47.3%増）、営業利益は243億円（同57.2%増）と、計画を上回る大幅な増収増益になりました。なお、為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、計画を上回る増収増益となっております。海外ユニクロ事業全体の店舗数は、同期間で62店舗の純増となり、11月期末の店舗数は695店舗、前年同期末比183店舗増まで拡大いたしました。エリア別の業績としては、特にグレートチャイナ（中国・香港・台湾）、韓国が計画を上回る大幅な増収増益を達成、東南アジア・オセアニア地区ではほぼ計画通りの増収増益となっております。また、米国では計画を下回り、増収減益の結果となりました。欧州（英国・フランス・ロシア・ドイツ）は計画を若干下回り、前年並みの営業利益となりました。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第1四半期連結累計期間の売上収益は781億円（同18.6%増）、営業利益は95億円（同30.4%増）と、計画通りの増収増益になりました。ジーユー事業については、計画通り2桁の増収増益を達成いたしました。スカート、ニットといったキャンペーン商品の販売が好調だったことから既存店売上高は増収となっております。セオリー事業については、計画を若干上回る増収増益、コントワー・デ・コトニエ事業は、計画を下回る若干の減益、プリンセスタム・タム事業、J Brand事業は、ほぼ計画通り、前年並みの業績となっております。

[CSR（企業の社会的責任）活動]

当社グループのCSR活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。

お客様からユニクロとジーユーの商品をお預かりし、服を必要とする人々に届ける「全商品リサイクル活動」では、11カ国の店舗で累計3,250万点以上を回収し、53カ国に1,420万点（2014年9月末現在）を寄贈しております。11月には、弊社従業員がヨルダンの難民キャンプを訪問し、お客様が難民キャンプへの思いを書いたハート型カードで作った虹色の横断幕を、回収衣料とともに寄贈いたしました。

ユニクロで最も歴史あるCSR活動「瀬戸内オリーブ基金」支援では、これまで募金を通じてご支援いただいているお客様に感謝の気持ちをこめて、11月に「オリーブ収穫祭」を開催いたしました。また、当活動に対するお客様のご理解や賛同を得るため、応募総数224名の中から60名を香川県豊島にご招待しました。

また、責任ある調達活動の一環として、パートナー縫製工場の「労働環境モニタリング」に関しては、外部監査機関による監査を定期的に行い、児童労働や賃金未払いなどがなく、適正で健全な労働環境の継続的な実現を目指しております。素材工場では、「素材工場向け環境基準」に基づく「環境モニタリング」を実施、環境負荷低減を推進しております。9月には、アパレル関連製品が及ぼす環境・社会への負荷低減を目的に設立された業界最大の団体、SAC（サステイナブル・アパレル連合 本部：サンフランシスコ）に加盟いたしました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、資本の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,887億円増加し、1兆2,810億円となりました。これは主として、デリバティブ金融資産の増加1,134億円、売掛金及びその他の短期債権の増加697億円、現金及び現金同等物の増加574億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,404億円増加し、4,967億円となりました。これは主として、買掛金及びその他の短期債務の増加791億円、繰延税金負債の増加389億円等によるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ1,483億円増加し、7,843億円となりました。これは主として、その他の資本の構成要素の増加889億円、利益剰余金の増加535億円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」と言います)は、前第1四半期連結会計年度末に比べ、480億円増加し、3,715億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、前第1四半期連結累計期間と比べ300億円増加し、718億円(前年同期比71.9%増)となりました。これは主として、税引前四半期利益1,067億円、法人税等の支払額303億円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間と比べ54億円増加し、192億円(前年同期比39.7%増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出152億円、無形資産の取得による支出22億円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前第1四半期連結累計期間と比べ97億円増加し、171億円(前年同期比131.4%増)となりました。これは主として、配当金の支払額152億円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、計画を上振れて進捗しておりますが、現段階では業績予想を期初予想から変更しておりません。秋冬シーズンが終了し、各事業の業績や為替動向がより明確になった時点で、必要に応じて業績予想の見直しを図りたいと考えております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、UNIQLO Washington LLC を新たに設立したため、連結子会社を含めております。UNIQLO(Germany)GmbHについては、当第1四半期連結累計期間において清算したため、連結子会社から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成26年11月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	314,049	371,546
売掛金及びその他の短期債権	47,428	117,190
その他の短期金融資産	9,119	10,371
棚卸資産	223,223	244,833
デリバティブ金融資産	99,125	212,544
未収法人所得税	11,951	11,471
その他の流動資産	12,139	12,685
流動資産合計	717,037	980,643
非流動資産		
有形固定資産	114,398	132,901
のれん	26,715	28,352
のれん以外の無形資産	46,968	50,433
長期金融資産	71,293	73,563
繰延税金資産	11,257	10,240
その他の非流動資産	4,636	4,922
非流動資産合計	275,270	300,414
資産合計	992,307	1,281,057
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	185,119	264,302
デリバティブ金融負債	1,012	0
その他の短期金融負債	12,696	13,645
未払法人所得税	32,750	36,628
引当金	16,154	11,485
その他の流動負債	25,462	42,221
流動負債合計	273,196	368,284
非流動負債		
長期金融負債	27,604	30,747
引当金(非流動)	7,694	9,398
繰延税金負債	37,387	76,312
その他の非流動負債	10,383	11,965
非流動負債合計	83,069	128,424
負債合計	356,265	496,708

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (平成26年11月30日)
資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	9,803	11,335
利益剰余金	525,722	579,261
自己株式	△15,790	△15,780
その他の資本の構成要素	88,371	177,324
親会社の所有者に帰属する持分	618,381	762,414
非支配持分	17,660	21,934
資本合計	636,041	784,349
負債及び資本合計	992,307	1,281,057

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上収益		389,052	479,543
売上原価		△190,202	△226,266
売上総利益		198,849	253,277
販売費及び一般管理費	2	△135,447	△168,009
その他収益	3	2,259	6,732
その他費用	3	△346	△629
営業利益		65,314	91,370
金融収益	4	4,452	15,643
金融費用	4	△290	△268
税引前四半期利益		69,476	106,745
法人所得税費用		△24,960	△33,948
四半期利益		44,515	72,796
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		41,995	68,826
非支配持分		2,520	3,970
合計		44,515	72,796
1 株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	5	412.13	675.30
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5	411.81	674.61

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
四半期利益	44,515	72,796
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産	43	△708
在外営業活動体の換算差額	7,902	18,555
キャッシュ・フロー・ヘッジ	16,915	72,636
その他の包括利益合計	24,862	90,483
四半期包括利益合計	69,378	163,280
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	65,546	157,780
非支配持分	3,831	5,499
四半期包括利益合計	69,378	163,280

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
平成25年9月1日残高	10,273	6,859	481,746	△15,851	731	16,452
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	41,995	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	43	6,592
四半期包括利益合計	—	—	41,995	—	43	6,592
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△11	—	—
自己株式の処分	—	28	—	14	—	—
剰余金の配当	—	—	△15,284	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,105	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,134	△15,284	3	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,134	26,710	3	43	6,592
平成25年11月30日残高	10,273	7,993	508,457	△15,847	775	23,044

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッ ジ	合計			
平成25年9月1日残高	70,215	87,399	570,428	19,298	589,726
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	41,995	2,520	44,515
その他の包括利益	16,915	23,551	23,551	1,310	24,862
四半期包括利益合計	16,915	23,551	65,546	3,831	69,378
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△11	—	△11
自己株式の処分	—	—	43	—	43
剰余金の配当	—	—	△15,284	△659	△15,944
株式報酬取引による増加	—	—	1,105	—	1,105
その他	—	—	—	△310	△310
所有者との取引額合計	—	—	△14,146	△970	△15,116
連結累計期間中の変動額合計	16,915	23,551	51,400	2,861	54,261
平成25年11月30日残高	87,131	110,951	621,828	22,159	643,988

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
平成26年9月1日残高	10,273	9,803	525,722	△15,790	798	23,035
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	68,826	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△708	17,307
四半期包括利益合計	—	—	68,826	—	△708	17,307
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	—
自己株式の処分	—	63	—	11	—	—
剰余金の配当	—	—	△15,287	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,467	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,531	△15,287	9	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,531	53,538	9	△708	17,307
平成26年11月30日残高	10,273	11,335	579,261	△15,780	90	40,343

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッ ジ	合計			
平成26年9月1日残高	64,536	88,371	618,381	17,660	636,041
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	68,826	3,970	72,796
その他の包括利益	72,353	88,953	88,953	1,529	90,483
四半期包括利益合計	72,353	88,953	157,780	5,499	163,280
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	75	—	75
剰余金の配当	—	—	△15,287	△1,226	△16,513
株式報酬取引による増加	—	—	1,467	—	1,467
所有者との取引額合計	—	—	△13,746	△1,226	△14,972
連結累計期間中の変動額合計	72,353	88,953	144,033	4,273	148,307
平成26年11月30日残高	136,890	177,324	762,414	21,934	784,349

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
税引前四半期利益	69,476	106,745
減価償却費及びその他の償却費	6,685	8,418
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6	14
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4,740	△5,608
受取利息及び受取配当金	△123	△227
支払利息	290	264
為替差損益 (△は益)	△4,328	△14,623
固定資産除却損	29	75
売上債権の増減額 (△は増加)	△54,074	△64,628
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,906	△9,799
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,852	53,660
その他の資産の増減額 (△は増加)	1,775	△3,020
その他の負債の増減額 (△は減少)	25,432	31,509
その他収支	△1,918	△1,134
小計	66,455	101,645
利息及び配当金の受取額	116	227
利息の支払額	△144	△180
法人税等の支払額	△25,317	△30,374
法人税等の還付額	718	564
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,827	71,882
定期預金の増減額 (△は増加)	—	811
有形固定資産の取得による支出	△10,659	△15,209
有形固定資産の売却による収入	1,274	174
無形資産の取得による支出	△1,867	△2,217
敷金及び保証金の増加による支出	△1,911	△2,960
敷金及び保証金の回収による収入	123	834
建設協力金の増加による支出	△1,003	△723
建設協力金の回収による収入	423	442
預り保証金の増加による収入	103	17
預り保証金の減少による支出	△202	△26
その他	△34	△350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,753	△19,207

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,674	△640
長期借入金の返済による支出	△8	—
配当金の支払額	△15,183	△15,234
リース債務の返済による支出	△835	△1,076
その他	△79	△243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,432	△17,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,142	22,016
現金及び現金同等物の増減額	26,784	57,497
現金及び現金同等物期首残高	296,708	314,049
現金及び現金同等物期末残高	323,493	371,546

- (5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは衣料品販売を主たる事業として、「国内ユニクロ事業」「海外ユニクロ事業」「グローバルブランド事業」を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業（衣料品）

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業（衣料品）

グローバルブランド事業：ジーユー事業、セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業（衣料品）

② セグメント収益及び業績の測定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度の「重要な会計方針」における記載と同一です。なお、当社グループでは報告セグメントに資産及び負債を配分しておりません。

③ セグメント収益及び業績に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他	調整額	連結合計
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業				
売上収益	208,497	114,096	65,907	388,501	551	—	389,052
営業利益	42,176	15,473	7,331	64,981	△28	362	65,314
セグメント利益 (税引前四半期利益)	42,630	15,177	7,389	65,197	△29	4,308	69,476

（注）「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他	調整額	連結合計
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業				
売上収益	232,632	168,031	78,186	478,851	692	—	479,543
営業利益	51,143	24,316	9,558	85,017	△2	6,354	91,370
セグメント利益 (税引前四半期利益)	52,843	23,746	9,626	86,215	△2	20,531	106,745

（注）「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	18,378	21,163
地代家賃	34,926	42,263
減価償却費及びその他の償却費	6,685	8,418
委託費	4,606	6,700
人件費	42,693	54,044
その他	28,157	35,419
合計	135,447	168,009

3. その他収益及びその他費用

その他収益及びその他費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
その他収益		
為替差益(注)	1,073	6,254
固定資産売却益	876	0
その他	308	477
合計	2,259	6,732

(注) 営業取引から発生した為替差損益はその他収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
その他費用		
固定資産除却損	29	75
その他	316	553
合計	346	629

4. 金融収益及び金融費用

金融収益及び金融費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
金融収益		
為替差益(注)	4,328	14,623
受取利息	123	227
受取配当金	0	0
その他	—	792
合計	4,452	15,643

(注) 営業取引以外から発生した為替差損益は金融収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
金融費用		
支払利息	290	264
その他	—	3
合計	290	268

5. 1株当たり情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)	
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	6,082.75	1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	7,480.41
基本的1株当たり四半期利益(円)	412.13	基本的1株当たり四半期利益(円)	675.30
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	411.81	希薄化後1株当たり四半期利益(円)	674.61

(注) 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日)
基本的1株当たり四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	41,995	68,826
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株主に係る四半期利益(百万円)	41,995	68,826
期中平均株式数(株)	101,898,095	101,920,154
希薄化後1株当たり四半期利益		
四半期利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	80,216	104,832
(うち新株予約権)	(80,216)	(104,832)

6. 後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日		当第1四半期連結累計期間 自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日		(参考) 平成26年8月期	
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	81,836	21.0	87,907	18.3	292,574	21.2
ウィメンズ	105,617	27.1	114,799	23.9	354,721	25.6
キッズ・ベビー	12,298	3.2	18,625	3.9	40,052	2.9
グッズ・その他	5,114	1.4	5,625	1.2	16,700	1.2
国内ユニクロ商品売上合計	204,867	52.7	226,957	47.3	704,049	50.9
FC関連収入・補正費売上高	3,630	0.9	5,675	1.2	11,594	0.8
国内ユニクロ事業合計	208,497	53.6	232,632	48.5	715,643	51.7
海外ユニクロ事業	114,096	29.3	168,031	35.0	413,655	29.9
ユニクロ事業合計	322,594	82.9	400,664	83.6	1,129,299	81.6
グローバルブランド事業	65,907	17.0	78,186	16.3	251,225	18.2
その他事業	551	0.1	692	0.1	2,410	0.2
合計	389,052	100.0	479,543	100.0	1,382,935	100.0

- (注) 1 FC関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 グローバルブランド事業は、ジュー事業(「ジュー」ブランドの衣料品販売事業)、セオリー事業(「Theory(セオリー)」、「Helmut Lang(ヘルムート・ラング)」、「PLST(プラステ)」ブランド等の衣料品販売事業)、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM.TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 5 上記金額には、消費税等は含まれておりません。